

医療行動科学 3 : 603-3-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
3年次	通年	*有川 量崇（衛生学）

学修目標 (GIO)と 単位数	・単位数：2単位 ・学修目標（GIO）：人間性豊かな、広く社会に貢献できる歯科医師となるためには、4年次に実施される臨床参加型臨床実習に求められる「知識」が修得できているかを問うCBT、臨床上必要な歯科医学及び口腔衛生に関して、歯科医師として具有すべき知識及び技能が問われる歯科医師国家試験を通過する必要がある。そのため、これまで講義や実習で学んだ（学ぶ）疾患について、知識・技能を修得する。
担当教員	*有川 量崇、岡田 優一郎、後藤田 宏也、*宇都宮 忠彦、竹内 麗理、*伊東 浩太郎、玉村 亮、松野 昌展、*齋藤 真規、*鈴木 到、坂爪 陽香、*庫川 幸利、*小川 晃奈、田口 千恵子
教科書	この科目単独での教科書は使用しない 2年次の各教科で使用した教科書 3年次の各教科で使用する教科書
評価方法 (EV)	平常試験を前期2回、後期2回、計4回実施する。4回の平均により評価する。60点に満たない者は、再試験を行う。
学生への メッセージ オフィスアワー	グループによる学習形態とする。2年次および3年次で学修した疾患について、グループごとに担当疾患を決め、疾患の概要（特徴、症状、治療方法、頻出年齢など）を教科書ならびに講義資料を参考にまとめる。それらを基に、歯科医師国家試験の過去問題を参考に、改変問題、新規問題と解説を作成する。その後、全体で各グループごとに発表する。この過程を4回繰り返す。グループ学習の重要性を学ぶ機会にしていきたい。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/07（月） 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 概論1	【授業の一般目標】 医療行動科学3で実施する内容を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 国家試験問題がどういうものかを理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次で学んだ講義で出現した疾患を挙げる。 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 ア 疾病の概念 a 健康・疾病の概念 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/04/14（月） 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次で学んだ疾患を整理する。 ・準備学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/14（月） 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 菌性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/04/21（月） 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：2年次で学んだ疾患を整理する。 ・準備学修時間：60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 菌性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/04/28（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング；有 【学修方略（LS）】 演習	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/04/28 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/05/07 (水) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/05/12 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/05/19 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間：60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/05/26 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験1と問題 解説	【授業の一般目標】 学んだ各疾患の内容に対する試験に対応できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：各グループでまとめられた疾患に対する学習を進める。 ・準備学修時間：120 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 概論2	【授業の一般目標】 歯科医師国家試験問題の概要を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/02 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 概論2	【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/06/09 (月) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（L S）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/06/16 (月) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/06/16 (月) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/06/23 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/06/30 (月) 1時限	各グループによる発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。	*有川 量崇 岡田 優一郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
09:00～10:30	各グループによる発表	【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/07/07（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/07/07（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/07/14（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/08/18（月） 1時限 09:00～10:30	平常試験2と問題 解説	【授業の一般目標】 学んだ各疾患の内容に対する試験に対応できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 自学自習の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：各グループでまとめられた疾患に対する学習を進める。 ・準備学修時間： 120 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 i 外傷 j 歯性感染症	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/08/18 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験2と問題解説	k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ⑦歯根吸収の原因、症状、診断及び処置を説明できる。 E-3-3-(3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる (疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む)。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/09/08 (月) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 概論3	【授業の一般目標】 医療行動科学3の前期の振り返り 【行動目標 (SBOs)】 1. 学習内容の必須項目を列举できる。 2. 情報収集の重要性を理解する。 3. 選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 3年次前期で学んだ疾患を整理する。 ・準備学修時間: 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 c 口腔粘膜の疾患 d 軟組織の疾患 e 顎骨・顎関節の疾患 f 唾液腺の疾患 g 口腔・顎顔面領域に症状を伴う全身疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 E-3-3-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/09/17 (水) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標 (SBOs)】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: 提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間: 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 有 【学修方略 (LS)】 実習	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/17 (水) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/09/22 (月) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/09/29 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/09/29 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 c 口腔粘膜の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 d 軟組織の疾患 e 顎骨・顎関節の疾患 f 唾液腺の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/10/06 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 c 口腔粘膜の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 d 軟組織の疾患 e 顎骨・顎関節の疾患 f 唾液腺の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/10/15 (水) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/15 (水) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 c 口腔粘膜の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 d 軟組織の疾患 e 顎骨・顎関節の疾患 f 唾液腺の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/10/20 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで挙げられた疾患について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 情報収集の重要性を理解する。 2. 選択の重要性を理解する。 3. 説明能力の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患について整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 演習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 c 口腔粘膜の疾患 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 d 軟組織の疾患 e 顎骨・顎関節の疾患 f 唾液腺の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/10/27 (月) 1時限 09:00～10:30	平常試験3と問題解説	【授業の一般目標】 学んだ各疾患の内容に対する試験に対応できる。 【行動目標（SBOs）】 1. 自学自習の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：各グループでまとめられた疾患に対する学習を進める。 ・準備学修時間： 120 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-（2） 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/11/04 (火) 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 概論4	【授業の一般目標】 問題構成、解説について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 問題点の抽出、解決の過程を理解する。 2. 学習内容の必須項目を列举できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：医療行動科学3で学んできた疾患に対する理解を深める。 ・準備学修時間： 60分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 e 咀嚼障害 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 d 不正咬合 i 外傷 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 l 顎関節疾患 m 口腔粘膜疾患 n 唾液腺疾患	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/04（火） 1時限 09:00～10:30	医療行動科学3 概論4	【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(1) 先天異常及び後天異常 ②口唇裂・口蓋裂の病態と治療方針を説明できる。 ③顎変形症の病態と治療法を説明できる。 E-2-4)-(2) 外傷 ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4)-(3) 炎症 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患 ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。 E-2-4)-(5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(7) 顎関節疾患 ②顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/11/10（月） 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(3) 炎症 ①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 ⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/11/17（月） 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/11/17 (月) 1時限 09:00～10:30	各疾患に対する資料作成	【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(3) 炎症 ①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 ⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	*齋藤 真規
2025/12/01 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる発表	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(3) 炎症 ①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/01（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/12/08（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4)-(3) 炎症 ①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 ⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4)-(5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4)-(6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/12/15（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/15 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症 ①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 ⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4) - (5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規
2025/12/22 (月) 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表	【授業の一般目標】 各グループで選択し決定した疾患を知る。 【行動目標（SBOs）】 1. グループ学習の重要性を理解する。 2. 問題作成の要綱を理解する。 3. 情報収集・選択の重要性を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：提示された疾患を整理する。 ・準備学修時間： 60 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 j 歯性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 n 唾液腺疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (3) 炎症 ①歯性感染症の原因菌と感染経路を説明できる。 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髄炎、蜂窩織炎、歯性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 ⑦口腔・顎顔面領域の肉芽腫性炎の種類と特徴を説明できる。 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4) - (5) 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	*有川 量崇 岡田 優一郎 *宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 *鈴木 到 *庫川 幸利 *小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 *伊東 浩太郎 *齋藤 真規

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2025/12/22（月） 1時限 09:00～10:30	各グループによる 発表		＊有川 量崇 岡田 優一郎 ＊宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 ＊鈴木 到 ＊庫川 幸利 ＊小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 ＊伊東 浩太郎 ＊齋藤 真規
2026/01/19（月） 1時限 09:00～10:30	平常試験4と問題 解説	【授業の一般目標】 学んだ各疾患の内容に対する試験に対応できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：各グループでまとめられた疾患に対する学習を進める。 ・準備学修時間： 120 分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 201教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 m 口腔粘膜疾患 【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 6 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 a 歯の硬組織疾患 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 c 歯周疾患 e 咀嚼障害 i 外傷 j 菌性感染症 k 嚢胞、腫瘍、腫瘍類似疾患 l 顎関節疾患 n 唾液腺疾患 o 神経疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4）-（2） 外傷 ①外傷の種類、特徴及び治癒過程を説明できる。 ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4）-（3） 炎症 ⑥主な炎症（舌炎、口唇炎、口底炎、智歯周囲炎、歯槽骨炎、顎骨炎、顎骨骨膜炎、顎骨周囲炎、下顎骨骨髓炎、蜂窩織炎、菌性上顎洞炎等）の症状と治療法を説明できる。 E-2-4）-（4） 口腔粘膜疾患 ②水疱、紅斑、びらん、潰瘍、白斑、色素沈着等を主徴とする口腔粘膜疾患の症状と治療法を説明できる。 E-2-4）-（5） 嚢胞 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4）-（6） 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法（細胞診、組織診、画像診断）及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。 E-2-4）-（7） 顎関節疾患 ②顎関節疾患（発育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患）の症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4）-（8） 唾液腺疾患 ④唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-2-4）-（9） 神経疾患 ②三叉神経痛の原因、症状及び治療法を説明できる。	＊有川 量崇 岡田 優一郎 ＊宇都宮 忠彦 玉村 亮 田口 千恵子 松野 昌展 ＊鈴木 到 ＊庫川 幸利 ＊小川 晃奈 坂爪 陽香 竹内 麗理 ＊伊東 浩太郎 ＊齋藤 真規